

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/09/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



ロシア産供給不安で65ドル台まで切り返す

NY原油先物相場は、1バレル=61.61ドルまで値下がりした後、65ドル台後半まで切り返す展開になった。週前半は需給緩和見通しを織り込む動きが強まり、8月から続くボックス下限に到達した。しかし、その後はロシアとイラン産の供給不安を織り込む動きが強まり、8月6日以来の高値まで反発した。

ウクライナ軍はロシアの石油関連施設に対する攻撃を続けている。ロシアは国内供給を優先するため、ガソリン禁輸措置を年末まで延長する一方、ディーゼルについても年末まで一部禁輸措置を導入する方針を示した。ロシア産の石油製品輸出の減少によって、国際需給がかく乱されるリスクが警戒された。また、ロシア軍が北大西洋条約機構（NATO）加盟国の領空侵犯を繰り返していることで、米欧がロシア産石油に対する精細強化に踏み切るリスクが警戒されたこともポジティブ。トランプ米大統領は、トルコに対してロシア産石油の禁輸を要請している他、ロシア産石油購入国に対する関税対応などを提案している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月19日時点）は、原油が前週比61万バレル減、ガソリンが108万バレル減、石油精製品が169万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

地政学リスクで不安定化するも、需給緩和で戻り売り優勢

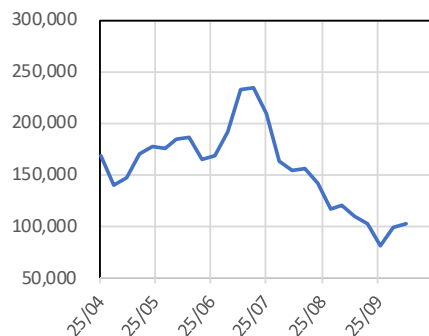
地政学リスクの高まりで値動きは不安定化しやすいが、戻り売り優勢の地合が続く見通し。ロシアとイラン産の双方に供給リスクを抱えているが、地政学リスクのみで原油高を進める余地は大きくない。60ドル台後半では、従来と同様に上値の重さを再確認する見通し。地政学リスクの買いを消化しつつ、需給緩和の戻り売り優勢の地合が続こう。

ウクライナ情勢の緊迫化が、引き続き原油相場の下値を支え、突発的な上昇リスクを抱える。ウクライナ軍がロシア石油関連施設に対してさらに大規模な攻撃を繰り返すと、供給不安が原油相場を押し上げる可能性が高まる。また、米欧の対口制裁強化の動きを具体化させた際にも、買いが膨らみやすくなる。

また、9月28日にはイランへの国連制裁が復活する見通し。制裁が再発動されると、イラン石油産業に対してもダメージが生じる可能性がある。イランは、仮に制裁が科せられても原油供給への影響は軽微と自信を示しているが、注意が必要な状況になっている。

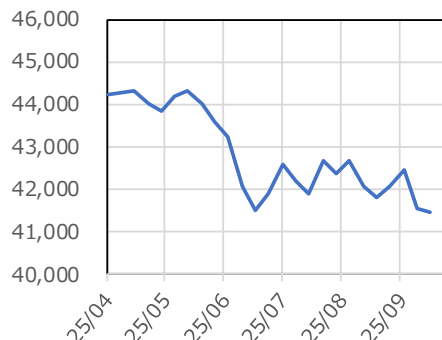
一方、国際原油需給の緩和見通しに変化は生じない。ロシアやイラン産に供給障害が発生した場合でも、需要を満たす供給量の確保は容易な状態にある。特に現在は需要端境期であり、余程の大規模な供給障害が発生しない限りは、安定した需給環境を維持することが可能な状態にある。上下双方に一夫的な展開になりづらいボックス相場が続いているが、地政学リスクを大きく織り込むような場面では、売り妙味が維持されよう。60ドル台前半をコアとした方向性を欠く展開が続きやすい。月末月初の米中経済指標などがイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



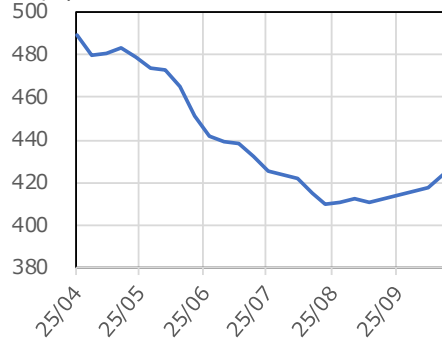
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

